



西風

西諫早としょかんだより【No.304】

■ 2022年9月号 ■

スマートフォン用



〒854-0074 諫早市山川町 1-3

諫早市立西諫早図書館

HP: <https://www.lib.isahaya.nagasaki.jp/>

TEL: 0957 (26) 8607 FAX: 0957 (26) 8250

講座案内



西諫早図書館で学ぶ

★★ 長崎文学散歩（文学講座） ★★

9/2(金) 第1回 長崎県出身の作家から

9/7(水) 第2回 長崎を描いた作家から

両日とも 15:00~16:30 予定

一回のみの参加も可

★場所: 西諫早公民館 3階 第2講座室

★定員: 15名

※要申込 お申し込みは西諫早図書館へ

★講師: 中島 恵美子先生(長崎県立長崎図書館指導主事)

図書館カレンダー (9月)



残暑厳しい折、熱中症にお気を付けください。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

図書館内での水分補給は…

- ①閲覧席に座って
 - ②ふたが閉められる容器で
 - ③飲む時以外はバッグの中へ
- ※食事(菓子、アイスクリーム等を含む)は、ご遠慮ください。

新着図書

この他にもたくさんあります! 貸出中の本には予約ができます。

『西田幾多郎の哲学』	小坂 国継/著	岩波書店
『江戸藩邸へようこそ』	久住 祐一郎/著	インターナショナル新書
『定年後にもう一度大学生になる』	瀧本 哲哉/著	ダイヤモンド社
『極限大地』	ウィリアム・グラスリー/著	築地書館
『なぜ、認知症の人は家に帰りがるのか』	恩蔵 絢子/著 永島 徹/著	中央法規出版
『体罰ゼロのポチパパ流 犬のしつけ大全』	北村 紋義/著	KADOKAWA
『誰でも上達する水泳』	佐々木 祐一郎/監修	成美堂出版
『あなたの知らない、世界の希少言語』	ゾラン・ニコリッチ/著	日経ナショナル ジオグラフィック
『ウクライナにいたら戦争が始まった』	松岡 圭祐/著	KADOKAWA
『夢を売る百貨店』	イ・ミエ/著	文響社

講座を開催しました



☆☆ 認知症サポーター養成講座 in 図書館 ☆☆

8/24(水)に認知症地域支援推進員と図書館の協催で開催しました。

認知症という病気を正しく知り、本人・家族の気持ちや接し方を学びました。ご参加有り難うございました。

次回は、来年1月18日開催予定です。

ご参加お待ちしております。



今月の展示



▷ 小説 エッセイ特集

様々な作家のエッセイを集めました。

新たな気付きがあるかもしれません。

この機会に是非どうぞ♪



▷ 実用書

- ☆ 写真で世界を巡る 📷
- ☆ すてきなモノに触れてみる
- ☆ 地球の外側を眺めてみよう
- ☆ 夏の手づくり



図書館員おすすめの一冊



『僕とアリスの夏物語 人工知能の、その先へ』

谷口 忠大/著

いじめが原因で不登校になってしまった小学6年生の悠翔^{はると}のところへ、AI 研究者の父の友人である博士に連れられて来た金髪の少女アリス。アリスは人工知能搭載の人型ロボットなのですが、この事は悠翔^{はると}には知らされず、共同生活が始まります。人工知能に人として接することで、どう発達し進化していくかという、父と博士の実験なのでした。

本書では、夏休み前までの3ヵ月ほどの共同生活をモデルにして、人間と人工知能の、物事への認識・挑み方の違いや、発達の違いなどを解説していきます。ほんの一例ですが、幼児は生まれながらの探索者であり、好奇心に基づき環境を探索していくが、現代の人工知能は受動的である。画像認識器をつくるとき、機械学習器と訓練データを人間が用意し、訓練データを学習器に与える。人工知能は口を開けて待っている雛鳥のようなものだ、と、著者は言います。

悠翔^{はると}とアリス、お互いにとって相手がどんな存在になったのか。現実社会での、未来の人間と人工知能の温かな関係性を予感させる本です。是非ご一読ください。(T)

